

野田ロータリークラブ週報

第3105回例会 (1月22日) 第3097号 2024.1.29 発行



世界に希望を生み出そう

2023-24年度 ロータリーのテーマ

地区: 「エンゲージメントを育もう」
野田: 「育もう郷土の誇り」

■創立: 昭和31年5月 ■例会日: 毎週月曜日 PM12:30~13:30

例会場 事務局 野田商工会館内5F(櫻のホール)

〒278-0035 野田市中野台168-1 TEL 04(7125)0061 FAX 04(7125)0055

会長: 三浦 直哉

幹事: 白島 智子

会長エレクト: 古谷 光裕

副幹事: 田中 秀和

副会長: 中村 政道

発行責任者: 鈴木 康夫

第3105回 例会

点 鐘 三浦 直哉 会長
司 会 川崎 貴志 SAA
ソング 我等の生業

会長挨拶 三浦 直哉 会長



皆さん、こんにちは

先週の夜間初例会は大変盛り上がりしました。

会員の皆様のおかげです。

会長として楽しい風景は嬉しい限りでした。

有難うございます。

さて、先週から国政では派閥の解散が相次ぎ揺らいでいるようです。ロータリークラブでは政治の話はタブーとされている様ですので、どの党の誰がどうのこうのとは言いません。

ですけれども政治不信を生んでいるのはパーティーのキックバックで派閥が悪いのだとは思いません。

派閥は3人寄ればできてしまうというもので、人のふれあいでの人は信頼できる。この人の行動はなった句出来る。あなたを手伝いたい。私を使ってほしい。等と契りを交わし成長が期待できる良い場所でもあると考えます。ロータリークラブでも人が集まり学びあい楽しみ会い奉仕を語り合い成長してきました。

私はいろいろな場所で集まり、その集まりの強さを発揮してゆく世の中になれば良いと考えています。

会長挨拶を終わります。



■ゲスト



野田青年会議所 理事長 坂齋 尚也 様
専務理事 白島 広大 様



奨学金贈呈

米山記念奨学会奨学生 タン フィブン 様

●御結婚祝い●



- | | | | |
|----|----|----|---------|
| 加藤 | 栄作 | 会員 | (1月1日) |
| 音辻 | 哲也 | 会員 | (1月1日) |
| 岡田 | 真吾 | 会員 | (1月7日) |
| 石山 | 隆一 | 会員 | (1月11日) |
| 岡安 | 誠人 | 会員 | (1月15日) |
| 富山 | 好夫 | 会員 | (1月21日) |
| 待山 | 弘 | 会員 | (1月22日) |

【出席】今回分(1月22日)
会員64名中46名出席(71.88%)

●御誕生祝い●



宇山 嘉一 会員 (1月5日)

☺ニコニコボックス☺

公益社団法人野田青年会議所
新年明けましておめでとうございます。
本年も宜しくお願い致します。

中野祐三郎 会員
1月14日前日雪、翌日強風、翌週雨天の中、奇跡的に好天に恵まれ清水公園キャンプ場でウィンターマーケットをお客様・出店者さん清水公園共楽スタッフ皆楽しいイベントとなりました。ありがとうございました。

宇山 嘉一 会員
誕生祝いありがとうございます。

加藤 栄作 会員
結婚祝いありがとうございます。

音辻 哲也 会員
結婚祝いありがとうございます。

岡田 真吾 会員
結婚祝いありがとうございます。

石山 隆一 会員
結婚祝いありがとうございます。

岡安 誠人 会員
結婚祝いありがとうございます。

富山 好夫 会員
結婚祝いありがとうございます。

待山 弘 会員
結婚祝いありがとうございます。

早退 3名

米山記念奨学会

安西 俊敬 委員長



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
寄付金送金の報告 2024.1 / 11入金日
一人当り 3,000円
人数 65名
下期分 195,000円

青少年奉仕委員会

待山 弘 委員長



ダルニー奨学金(年間)
タイ 1人 14,400円
ラオス 1人 14,400円
計 2人 28,800円
の振り込みをして頂きました。1 / 16
また公益財団法人国際センターより支援のお礼状も届いています事ご報告致します。

委員会報告

ロータリー情報委員会

浅野 泰泉 委員長



ロータリーオリエンテーションの計画のご案内
2 / 26(月) 13:40 ~ 14:00



幹事報告

白島 智子 幹事



- 1) クラブ活動計画書の年間行事予定4月22日が振替休会から通常例会に変更になります。(訂正した年間行事予定表配布)
 - 2) ガバナー事務所より「令和6年能登半島地震支援金」の願いが来ています。被災地である第2160地区(石川県・富山県)への支援金を1月26日までに取りまとめるため本日理事会で諮ります。また、第2610地区以外の地区から今回の地震により被災された方への支援要請がありましたら、改めて連絡頂くとのことです。
 - 3) 地区関係負担金 下期分
¥12,590×65名分=¥818,350
振り込みました。
 - 4) ロータリーの友 半年分支払いました。
一冊¥250です。
 - 5) 一般社団法人比国育英会より「バギオだより」が来ています。バギオは、フィリピンの首都マニラから北へ約250キロ標高1500mにあり人口35万人の都市です。太平洋戦争最期の激戦地でした。戦後日本軍に協力した日系フィリピン人は、現地の迫害を受け、日本人日系人であることを隠してバギオの山中に逃げ込み生活していました。彼らの存在を知り救出しようとしたのが日本からマニラの修道院に赴任し、休暇でバギオを訪れていたシスター・テレジア・海野でした。彼女の活動を知ったロータリアンに呼びかけ1981年(昭和56年)に「バギオ基金」を立ち上げたのです。今年で43年になります。バギオ基金の活動を全国のロータリークラブやロータリアンに呼びかける手段として「バギオだより」が発刊されたのが
- 2008年(平成20年)です。この号で発刊百号だそうです。
- 6) 「ロータリー希望の風奨学金」より「風の便り」来ています。
 - 7) 職業奉仕月刊のリソースのご案内が来ています。
 - 8) RI日本事務局より「財団NEWS」が来ています。
 - 9) コーディネーターNEWSが来ています。
 - 10) ハイライトよねやま
 - 11) 「第46回アジアの祭典チャリティーバザー」
日時: 3/26(火) 11:00~15:00
場所: 明治記念館
 - 12) 1/29来週の例会はガバナー公式訪問です。通常通り12:30点鐘後、通常例会を行い卓話で鶴沢ガバナーが卓話を行います。その後クラブ協議会開催し、ガバナーへの質問を行います。14:30終了予定です。
 - 13) 本日例会後に理事会があります。

卓 話

岡村 陽子 会員



～ パリからのラブレター ～

みなさんこんにちは。岡村陽子です。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。では早速ですが、「パリからのラブレター」と題しまして、お話を始めさせていただきます。パリ協定で2030年の約束をしました。何を約束したのが定められた目標を実現するために今にながが必要なのか考えてみました。まずパリ協定で約束したことを復習してみました。パリ協定とは2015年のCOP21で合意された協定であり、パリ協定の目的は「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をすること」です。197か国がCO2削減目標を掲げてますが、我が日本では2030年CO2削減目標を2013年度比で-46%、さらに50%の高みに向け挑戦を続けていくとなっております。では何をすればCO2排出を抑えられるかですが、各種電源別のライフサイクルCO2の排出量を示している表を見ると、ご想像の通り、石炭火力、石油火力、LNG(液化天然ガス)火力の順に発電した時のCO2排出量が多くなっています。それに比べ太陽光風力電子力地熱等いわゆる再生可能エネルギーと言われているものは設備・運用に多少なりのCO2は排出されますが、発電時には排出しないエネルギーとなっております。ですので、大枠は石炭などの火力発電を原子力や再生可能エネルギーの低二酸化炭素発電に変更する事が大切です。欧州ではロシア・ウクライナ戦争の影響でロシアの天然ガスを止める事態になってますので、それをフランスの原子力発電に

変更によってパリ協定の達成が容易になると思われれます。

では日本の発電はどうなっているのでしょうか。日本国内の電源構成の推移を見てみると、2011年日本では東日本大震災があり原発が停止されましたので、それまでは原子力比率が20-30%でしたが、2012年にはほぼ0%に近い数字となっております。一方それを補うために火力発電の割合が多くなり、それを自然エネルギーが徐々に補い少しずつ減らしてきています。さらに現在原発が再稼働されてきております。

日本がパリ協定で約束した2030年の数値は一番火力発電が多かった2013年との比較であり、賛否はあるとは思いますが、原発再稼働等で目標の達成は可能という状況であり、現在政府の方でも原発の再稼働を進めております。こちらの発電にかかるCO2の削減で30%から40%の削減が予定されております。では残りの10%から20%のCO2を削減するためには何をすべきなのでしょう。先程の我々が使用している電気の発電に係るCO2の割合は日本政府や東電などの電力会社の方で努力していただけてるので、それ以外に企業や個人がすべき事はどのようなか。

- 生産する際に出る熱等を回帰してCO2の発生を抑える(抜本的に生産方法を見直す必要があり、一般的には元が取れないケースが多い。)

- 工場は自宅等の屋根にソーラーパネル等を付ける(ソーラーパネルでの発電量は少ないので、一般的には全てをソーラーに依存するのは難しい。)

- 再生可能エネルギー等のCO発生率の少ない電力を契約する(価格や量の問題から、くは東電等からの電力との併用となり一般的にはこれだけでは足りない)

- 所有している自動車をEVに少量変更する(原子力発電所が再稼働されてくる2024年からお勧めで、国からの補助金等もあり。)

- 排出権を購入する(昨年2023年10月から東京証券取引所等でも購入が可能)

グローバル企業はCO2が減らない国の工場等も考慮する必要があります。他の国の工場で減らした量を合算できることになってます。

そして減らしすぎてしまった場合は排出権を売却することも可能となっております。こちらがCO2排出権取引所の例です。

カーボンクレジット市場ということでカーボンニュートラルの為の排出量の取引ができる様になってます。



2030年の目標達成のために大枠は政府や電力会社がCO2削減をしてくれますが、我々も少し協力する必要があります。慌てることなく各項目少しづつ取り入れることで、達成されます。足りない時は排出権購入も可能であり多く削減できれば売却することも可能ですので、みんなで協力して環境を守っていきましょう。
ご清聴ありがとうございました。



ポールハリスフェロー表彰 宇山 嘉一会員

2023-2024年度野田RC理事会議事録		会長	三浦 直哉	開催日時	2024年1月22日	開催場所	櫛のホール 5F		
議 題							承認	否決	保留
1.	能登半島地震支援金はクラブより10万円寄付する						○		
2.	親睦旅行の件 ●物価高騰のため参加費一人を昨年の30,000円から35,000円にする ●旅行先は日光。工程表見積にて検討した						○		
3.	1/29 ガバナー公式訪問準備の報告 プログラムは作成し事前準備と当日のタイムスケジュールを確認した						○		
4.	2/4 IMの件 全員登録済						○		
5.	シルバー人材センター値上げの件 9%アップ						○		
6.	茂木七郎治会員の米寿祝い・入会40年記念の件 2月26日例会にて贈呈する						○		
7.	第3回育もう郷土の誇り実行委員会の報告 1/15に開催した内容を報告今後詳細を決定する						○		
8.	その他 ①会員増強委員長より進捗状況の報告 ②ロータリー情報委員長より「新人研修会」の実施について説明								

野田ロータリークラブ 例会・卓話予定表			
月 日	卓 話 ・ 行 事	月 日	卓 話 ・ 行 事
1月29日(月)	ガバナー公式訪問	2月19日(月)	卓話 野田市長 鈴木有様
2月 4日(日)	IM(インターシティミーティング)ビジネスホテル野田14:00点鐘	2月26日(月)	会員卓話 加藤栄作会員
2月 5日(月)	振替休会(IM インターシティミーティング)	3月 4日(月)	会員卓話 岡田真吾会員
2月12日(月)	休日(建国記念日)	3月11日(月)	会員卓話 浅野泰泉直前会長